

<p>教材・教具名 クーゲルバーン (ボール落とし)</p>	
<p>活用できる教科・領域等 自立活動 (個別課題)</p>	
<p>教材・教具の紹介(特徴)</p> <p>【色について】 木目と木の風合いも大切にしているが、ボールを置く位置など重要なポイントには赤色を採用している。</p> <p>【難易度について】 ボールが転がり落ちる速度ができる限りゆっくりになるよう角度をゆるやかに設計した。</p> <p>【セールスポイント】 スイッチ教材と組み合わせることにより、ボールが転がり落ちると歌が流れるようにしたことで、関連性を理解し見通しと興味をもって活動にのぞむことができる。</p>	
<p>活用事例</p> <p>【注視すること】 提示されたボールを見て掴むことを徹底することで、提示する位置を変えても見て確認し受け取ることができる。</p> <p>【掴んだ物を放すこと】 ボールを置くポイントを目立たせることで、ここにボールを置けば、ボールが転がり落ちていくという関連性の理解が進み、ボールを放すという動きを導き出すことができる。</p> <p>【追視すること】 ボールが転がる速度を極力ゆっくりにしたことで、ボールの中に鈴などを入れ、転がると音がでるようにしたことで、追視が苦手な生徒でも追視する活動に興味をもって取り組むことができる。</p>	<p>作成の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ニックスロープ」という、市販されている玩具をモチーフにして作製。 ・必要な木材と、のこぎり、木工用ボンド、ネジ、ドライバーがあれば作成可能。 <ol style="list-style-type: none"> ①土台と天板のサイズを決めて切り抜く。 ②土台と天板に柱を立てる位置を決めて木工用ボンドとネジで固定する。 ③スロープ部分は仮固定し転がしたいボールを転がしながら角度を調整し、木工用ボンドで固定する。 ④ボールを置くポイントに目立つように赤く塗装した木枠を設置する。 ⑤スイッチ教材を隠すように、ボールが転がり落ちる場所に木箱を設置する。
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上段からボールを転がすのが難しい場合には途中から転がしても十分転がした実感を得ることができる。 ・ヒノキ材を使うと良い香りができて、リラックスしながら活動にのぞむことができる。 	